

分野	荒廃山地の復旧等の治山			事業番号	4	事業名	山地治山(林地荒廃防止)			
市町村名	天龍村	ふりがな 箇所名	おおくぼ 大久保		事業年度 (完了年度は見込み)	H24 年度 ~ H24 年度				
事業概要	計画概要 (延長・幅員・面積・工種など)	山腹工 0.10ha(土留工2個、水路工、筋工、伏工、植栽工)				H23年度末 事業進捗率	-			
	H24年度以降実施内容	同上				本工事費等ベース	-			
	H24年度実施内容	同上				用地補償費ベース	-			
	年度	全体事業費	H22年度まで	H23年度	H24年度	H24年度以降残				
財源内訳	事業費計(千円)	23,000			23,000	23,000				
	国庫支出金	11,500			11,500	11,500				
	その他									
	県債	10,350			10,350	10,350				
	一般財源	1,150			1,150	1,150				
箇所評価	観点	評価項目・指標等			評 価		ランク	評点		
	必要性 (20)	保全対象人家	10戸以上	1~9戸	0戸	A	3			
		保全対象公共施設	2箇所以上	1箇所	なし		5			
		保全対象に災害時要援護者関連施設があるか	重要施設	一般施設	なし		0			
		保全対象(保安林・林業用施設)	「広域基幹林道」又は利用区域500ha以上の林道又は保安林率50%以上	保安林率30%以上50未満又は流域対策上保全すべき森林あり	保安林率30%未満		7			
	小 計					15				
	重要性 (15)	過去の災害履歴	過去5年に1回以上	災害履歴地	なし	A	5			
		交通遮断による地域経済などへの影響	大	中	小		3			
		防災計画上の位置づけ	あり	なし			5			
		小 計					13			
	効率性 (20)	費用対効果(B/C)	B/C2.0以上	B/C1.0以上2.0未満	B/C1.0未満	A	10			
		早期発現度	3年未満	3年以上5年未満	5年以上		7			
		流域の総合調整	あり	なし			0			
		小 計					17			
	緊急性 (25)	最寄の保全対象までの距離	50m未満	50m以上200m未満	200m以上	A	7			
		地形、地質の状況	火山噴出物、花岡岩、第3紀層、破砕帯かつ地すべり地形	火山噴出物、花岡岩、第3紀層、破砕帯	その他		2			
		平均深床勾配(平均山腹勾配)	10°以上(30°以上)	5°~10°未満(20°~30°未満)	5°未満(20°未満)		3			
		下流の堰堤等の整備状況(他所管含む)	なし	あり(概ね満砂)	あり(ポケットあり)		3			
		危険地区危険度	Aランク	Bランク	Cランク		なし	4		
		小 計					19			
	計画熟度 (20)	地域からの要望	地域住民活動強い	市町村要望有り	特に要望ない	B	7			
		事業情報の共有	関係者以外にも周知	関係者中心に周知	特に周知していない		3			
		住民参加の状況	住民が直接参加	住民市町村意見を反映	住民意見反映していない		3			
		小 計					13			
	費用対効果(B/C)		7.46	評 価 の 合 計			A	77		
事業周辺環境	事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	計画地は、村道に隣接した急峻な斜面で、山腹崩壊が発生している。H23.7月台風6号災では、村道脇が崩壊し下部村道が一時運行停止となった。また、山腹中腹部に通る農業用水路が被災した。村道は村が、農業用水路は地区住民が応急復旧を行った。地元住民、村からは早期の対応を望まれている。								
	地域からの要望経緯	H23.8月地元要望を受けて、村から要望が提出される。								
	事業説明等の経緯	事業計画説明を、村を通じて地元区長、地権者等へ実施している。								
	環境・景観への配慮項目	特になし。								
	他事業・プロジェクトとの関連	天龍村が農業用水路の復旧対策をあわせて実施する予定。								
	特記事項	村道は重要な生活道路であり、農業用水路も重要な施設であることから、地域要望が強い。								
地域の合意形成		全員賛成	概ね賛成	過半数賛成	動向不明	その他				
部意見	平成23年7月豪雨により山腹崩壊が発生し、下部村道が通行止めとなった。山腹内には未だ不安定な堆積土砂や倒木があり、今後の降雨により土砂が流出する恐れがあることから、対策を図る必要がある。			政策評価課意見	必要性、重要性、緊急性が認められる。					